

# 防災通信

## 中部ライフガードTECC2024レポート!!

ダブルエッチジャーの皆様こんにちは。防災委員会です。

今年も新年が明けて一カ月が経ってしまいましたが、どうぞ本年もダブルエッチジャー防災委員会をよろしくお願いたします。

さて、新年一発目の特集記事として今回は昨年11月に開催された「中部ライフガードTECC2024」に私と杉江さんが参加し



てきましたのでその時の様子等をレポートしていきたいと思えます。まず最初に「中部ライフガードTECC」とは何か？簡単に説明させ

ていただきます。この展示会は今年で12回目の開催で「災害に備えるための総合防災展」をコンセプトに各企業や団体が自社の製品や活動等を紹介する防災の総合展示会となっております。参加する企業や団体も80にのぼりまさに中部地区で最大級の防災展ではないでしょうか？私自身も開催されていたのは以前から知ってはいても、

中々予定が合わず行けずじまいだったので今回は今回は上手く予定が空いたので参加することができました。

### ① キャンピングカー

まず、最初に紹介させていただきます。ただのキャンピングカーではなく、災害時に活用できるようなキャンピングカーが展示してあるのを見ました。

際大きなスペースで車が展示してあったのが目に入り、そこで展示してあったのがキャンピングカーとハイエースの内装を改造した車両でした。キャンピングカーはアウトドア好きな方は知っていると思いますが、まさに動く家といった感じで災害時であろうとも余裕で生活が出来てしまう程に装備が充実しています。ただ非常に大きくていかにもといった見た目をしているので普段使いには適さない点や車両自体の価格も高いので、よほど資金に余裕がないと持つのは難しいと思います。



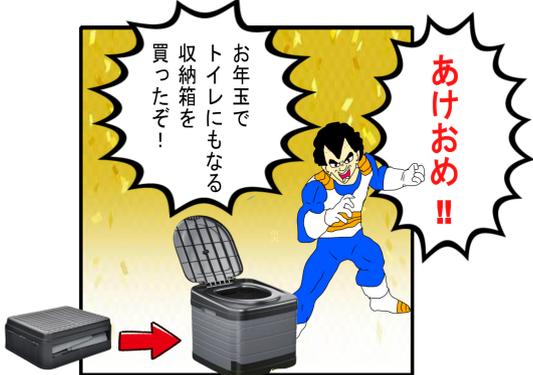
そしてもう一台展示してあったのが見た目は普通のハイエースなのですが中に机やベット等が内装されていて、これでも十分に生活が可能だと思えました。後で紹介しますが今回の「おススメコーナー」の記事で車中泊体験の記事にしましたが、やっぱり軽自動車ではスペースや装備面でも長期間

### ② 備蓄食

万が一、災害が起り被災したあと、困ることと言えば食事関係が上げられます。もちろん配給もあるとは思いますがある程度時間が経たないと自治体による配給が始まらないと考えられ、またいざ配給が始まって、一気に

## 災害用トイレ

P.Nセッキー



お年玉でトイレにもなる収納箱を買ったぞ!

あけおめ!!



俺はこうやって非常食をいれておく



いつでもきやがれ 災害野郎め!



かえりな

人が押し寄せるため、長時間も長蛇の列に並ばなければいけないかもしれないかもしれません。そんな時に常備しておく心安心なのが非常食です。昔は乾パン等が主流で、ただお腹を満たせばよいというものでしたが、今は非常食といえど普段の食事に出来るだけ近づけよう進化を続けています。その中で代表的なもので「アルファ米」を使ったごはんシリーズを提供している「尾西食品」のブースもありました。



また、ホリカフーズの「レスキューフーズ」は火、水、電気を問わずに温かい食事が食べられることが特徴で、発熱剤を利用して食品を温めるので本当に熱々のカレーや煮込みハンバーグなどを災害時にも食べることが出来ます。



③段ボールベット

普段はコンパクトに畳めて閉まっており、いざ災害時には簡易就寝具として役立つのが段ボールベットです。会場で実演していたのが(株)KEIKAKOコーポレーションの「開いてポン」という段ボールベットでその名の通り、畳んである段ボールを開くだけで誰でも簡単にベットの設置できるということでした。



写真が小さくて申し訳ないのですが赤い絵本のようなイラストが写っていると思います。この商品が出来たきつ

かけが子供が良く読む仕掛け絵本を開くところからヒントを得て、開発されたようです。

またもう一つこの段ボールベットの素晴らしい点は壁があるところです。この壁から布などを被せれば、中を見せなくすることが出来るので、簡易的

にはありますがプライバシーを確保に役に立つと思われました。被災して体育館等で集団で生活しなければならなくなった時はどうしてもプライバシーの問題が出てきます、こうしたちょっとした配慮が長期に及ぶ避難生活の人々の安心に繋がるのではないかと思います。



他にも特別プログラムではプロジェクトマップピングを使った、名古屋港の津波防災についての解説や能登地震で実際に活躍した災

害対策車両の展示等、実物を見て感じることも多く、本当に幅広く災害について学べる良い展示会だと思いました。今年の日程も12月4日と5日で決まっているようなので予定が合えばぜひまた参加してみたいです。

11月28日(木) 中部ライフガードテック 参加の感想

では次は同じく参加された杉江さんのレポートに移りたいと思います。(松原)



また、保存食や避難時に活躍する段ボールハウスや段ボールベットの展示もあり、インテリアを良くするだけ



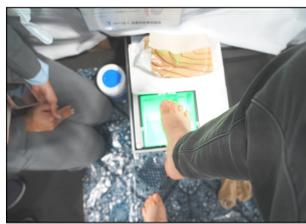
で家のように快適に生活できそうな展示でしたが、いざ災害が起きてしまったときにそのような余裕はないのかなと思いました。

災害の意識を高めようという中、自動車から電気を供給できるシステムも最近多く見かけます。また、キャンプフォームでおしゃれな車中泊使用の車もあったので、災害を想定して購入を検討しても良いかもしれません。

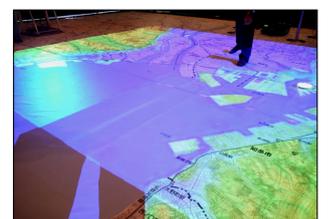


身元確認をする為に初めて足紋というものを撮ってみました。今

回は普及させるために来ていましたが、指紋等と一緒に身元確認ができるものとなっています。災害時に行方不明者と出ている方は身元が分からないこともある為、災害が起こる前に指紋やDNAの登録など身元が分かるようにしておくの良いことが分かりました。今まで自身が亡くなった時の事までは考えられていなかったので良い機会になりました。



皆様の記憶にも残る、石川県能登の地震の写真や福島の津波の映像を見ました。津波の映像はやはり衝撃的で次々と津波が街を襲う光景は異様でした。いつ起こるか分からない災害に備えて日々の防災意識を高めていきたいと感じました。(杉江)





## ペットの防災～災害に備えて安全を確保する～

災害が発生した際、私たち自身だけでなく、家族であるペットの安全も確保することが重要です。地震、台風、洪水などの自然災害に対して、事前の準備をしっかりと行うことで、愛するペットを守ることができます。今すぐできる準備と対策をご紹介します。

### 1. 避難袋の準備

ペット用の避難袋を用意しておきましょう。

- 食料：ペットの通常の食事を少なくとも1週間分。
- 水：1週間分の飲料水（1日あたり500ml/5kgの体重）。
- 薬：ペットが必要とする薬やサプリメント。
- おもちゃと毛布：ストレス軽減のためのアイテム。
- トイレ用品：ペットシートや猫砂など。
- キャリーバックやケージ：猫や小動物には避難時に欠かせないアイテム。



### 2. 避難経路と避難先の確認

日頃から家の中や周辺の避難経路を確認し、ペットと一緒に安全に避難できるルートを確認します。また、ペットを受け入れてくれる避難所を事前に調べ、確認しておくことが重要です。

### 3. ペットの健康管理

定期的にペットの健康状態をチェックし、必要な予防接種や寄生虫対策を行います。避難時に必要な薬や医療記録も用意しておきます。

### 4. ペットの識別タグ

ペットが迷子にならないように、識別タグを装着しておきます。識別タグには飼い主の連絡先を明記し、常に最新の情報に更新しておきましょう。

### 5. 避難訓練

定期的に避難訓練を行い、ペットが避難に慣れるようにします。キャリーバックに入る練習や避難経路の確認を行うことで、実際の避難時にスムーズに行動できます。

## 災害別対策

### 地震対策

地震は突然発生するため、日頃からの準備が重要です。避難袋を常に手元に置き、家具の固定などを行い、ペットの安全を確保しましょう。

### 台風対策

台風は事前に予測できるため、早めの準備が可能です。窓ガラスに飛散防止フィルムを貼るなどの対策を行い、ペットを屋内に避難させます。

### 洪水対策

洪水時には迅速な避難が求められます。高台への避難ルートを確認し、ペット用の防水対策を講じておきましょう。

これらの対策をすることで、災害時にペットとともに安全に避難することができます。事前の準備と計画をしっかりと行い、いざという時に備えましょう。また、環境省が災害発生時のペットへの対応についてまとめた「人とペットの災害対策ガイドライン」がありますので興味ある方はご確認ください。（杉江・森下）

## 防災グッズ選びはどうしてますか？

防災グッズを買うことをしていると思いますがどのような商品を買っていいのか今はいろんな情報があるのでわからなかったり難しいですよね？そこで僕が見ていたユーチューバーの商品紹介がいいなと思ったので紹介してみたいと思います。



レスキューハウスと調べればすぐに出てきます。この人は元消防士で過去の災害時に実際に救助に行ったりしたこともありいろんな状況に合わせた商品を紹介している動画が何個もあります。

100均で買える防災グッズでもダイソー、セリア、キャンドゥなどここではこんなものがあるよといろんな商品が出てきます。商品をそのまま使うのではなくアレンジしたりすることもあります。ほかにもワークマンなら、無印良品ならといろんな店で購入できるおすすめ防災グッズを紹介しています。ある程度必要なものはありますがどこで買うのかの目安にすることができます。このユーチューバーは子供もいるので子供のための防災グッズの紹介もしています。大人のみ目線だけでなく子供のためにも参考になるものがあると思います。まずは自身の家の近くにあるお店の動画を観てみるのをおすすめします。

動画内でおすすめされていたダイソーのグッズのアレンジを例で載せてみます。



折り畳み椅子の座面をカッターで四角に切り取りその部分にビニール袋をセットすることでトイレになるそうです。動画では70kgと100kgの男性が座っても壊れることはなかったので四角く切った後でも強度があるそうです。ポータブルトイレもいいが持ち出す際にはやはりサイズがありかさばってしまうのでこの方法でもよいかもしれんね。

いろんな商品をいろんな店別で元消防士という観点でおすすめしています。おすすめ商品を自宅から近い店で探すのか、防災グッズにあまりお金をかけたくない、しっかり使えて少し値が張っても構わないなどと価値観が違うので一人分なのか、家族分なのか、子供も含めてなのかと各家庭で揃えるものも変わってくるし一度動画を観てもらおうと考えるきっかけになるとと思います。(井田)



このコーナーでは毎回、私自身がこれまで見たり聴いたり体験した事の中でこれはいいなと思う素材を紹介していくコーナーです。

今回は第11回目ということで、災害時に必要な電源として確保したいポータブル電源について解説していきたいと思います。

それでは第11回スタート！！

皆さんは災害時の備えとして電力の確保をどのように考えていますか？大きな災害が起こると当然、電力の供給はストップしてしまい、停電します。災害が大きければ大きいほど回復までは相当の時間数を要するので、そんな時に役に立つのがポータブル電源です。イメージとしては皆さんが普段持ち歩いているモバイルバッテリーを大きくしたようなもので、最近はキャンプブームもあってアウトドアが好きな人や災害時の電力確保のために購入する人が増えているようです。かくゆう私も以前から災害時の備えとして気にはなっていたのですが、非常に高価な物で、気軽に買えるものではないので躊躇していました。が、先日のAmazonブラックフライデーで43%オフだったので、ついに購入してしまいました(笑) ああボーナスが・・・

それでは実際に購入してみたポータブル電源と一緒に見ていきましょう！！



メーカー：Anker  
 名称：Anker Solix C1000 Portable Power Station  
 価格：79900円  
 サイズ：W376×D205×H267  
 重さ：12.9kg

まず、災害時の必要な備えとして、水や食料等の備蓄品もちろん必要なのですが、それと同じくらい重要なのが、情報の入手手段であるスマホやパソコン、また季節によっては気温調節のため家電製品を動かすことが必要になってきます。スマホや家電製品を動かすには当然「電気」の備えが必要であり、その両方を動かせるポータブル電源は非常に重要なアイテムの一つだと言えます。

そこで今回、ちょうど休みも長く、ポータブル電源も試したかったので自宅が使用出来なくなったことを想定して車中泊に挑戦してみました。



自分の車にとりあえず寝袋とテーブル、ポータブル電源を置いてみました。すると軽自動車ということもあり、それだけで一杯になってしまいました。完全に1人用です。ん～家族はどうする？

まあ今回はお試しということで1晩、寝てみました。が真冬ともあり寝袋も冬用ではないので当然のごとく寒い、寒すぎて眠れそうに無かったので、ここでポータブル電源をON、早速、電気毛布を入れて見ました。すると流石は電気力、あっという間にポカポカで快適？に眠ることが出来ました。(すみません。本当は車中泊に慣れておらず、軽ではあまりに狭すぎて熟睡は難しかった(泣))



あと、消費電力が大きい電子ケトルも動かせるか？も試してみました。さすがに1000wの電子ケトルは消費電力が大きく20%ほど電力を消費してしまいましたが難なく動かせるのでこういった家電も緊急時には重宝すると思いました。



沸かしたお湯で賞味期限の迫った備蓄食のカレーも作ってみました。ココイチ監修らしく、ココイチのあの味とは少し違いますが普通に美味しく、お湯を入れるだけで暖かいカレーが食べられるのは非常にありがたいのではないかと思います。

いかがでしたか？今回はポータブル電源について解説と使用感をレポートしましたが、やはり緊急時に電力が有ると無いとでは快適さが各段に違うと思われま。もしもの時に1家に1台、「備えあれば憂いなし」のポタ電の購入をおススメします。

それではまた次号にてお会いしましょう！！(松原)

今年も新年が明けましてもう1ヶ月が経とうとしていきますね。皆さんは今年の正月は奇跡の9連休と言われている長かったと思います。がゆっくりすることが出来ましたか？記憶に新しいところで昨年の正月は能登地震が起きてしまい大変な事になってしまいました。が復興という面では中々進んでおらず、被災者の方々は今も不安な日々を過ごされているようです。さらに能登では地震だけではなく9月にも水害も起きてしまいました。本当に被災者の皆様にとってはつらい1年間だったと思います。私にとつての能登の記憶は、10年ほど前に奥能登旅行の際、泊まった「ランプの宿」が一番心に残っています。今も地震の影響で休業中なのですが、あの雄大な自然の中に佇む宿への感動をぜひとももう一度味わってみたいので早急な復興を心から願うばかりです。(松原)

編集後記